

## まもなく開業 北陸新幹線

3月14日、いよいよ北陸新幹線が開業します。首都圏と北陸地域の交通利便性が高まることで、交流人口の増加や企業立地による地域経済の活性化など様々な効果が期待されています。豊かな自然や恵まれた居住環境、自然災害が少ないことなど北陸地域の強みを発信することが重要であり、ストロー現象と呼ばれるマイナス効果を抑制するためにも地域の魅力を高める取組が必要とされています。



(写真：3月14日の開業に向け北陸新幹線の試運転が行われています)



概要・人事案件等	2	閉会中委員会開催状況	10
審議経過	2	特別委員会行政視察報告	11
審議議案・議員別賛否状況	3	議会報告会を開催しました	11
代表・一般質問	4~8	委員会報告	12~13
傍聴のお知らせ等	8	議長交際費・次回議会日程等	13
全国市議会議長会で議案認定	9	会務報告・編集後記	14

# 一般会計補正予算・条例改正など

## 13議案を議決しました

12月9日から22日までの14日間を会期として12月定例会を開会しました。12月定例会では、市長から平成26年度小矢部市一般会計補正予算や条例の制定改廃、副市長の選任同意や専決処分事項の承認についてなど13議案が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

なお、初日には9月定例会で継続審査となっていた平成25年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定8議案を認定しました。

その他、富山県後期高齢者医療広域連合議会議員を選挙し、請願1件を処理しました。また、議員派遣を可決しました。

### ◎ 補正予算の概要

#### 議案第54号 平成26年度小矢部市一般会計補正予算（第4号）

補正額 6,539.8万円 累計予算額 144億7,624.8万円

##### 《主な事業》

- ・在宅医療多職種連携体制促進事業費 244 万円
- ・集落営農法人化支援事業費補助金 440 万円
- ・農地中間管理機構集積協力金 2,190 万円
- ・商店街等振興事業費補助金 288.5万円
- ・道の駅・地域振興施設設備改修費 2,500 万円  
(他事業からの移し替え)
- ・老朽危険空き家除却支援事業費補助金 100 万円
- ・砺波地域消防組合分担金 304.4万円
- ・給与費の精査（人事院勧告に準じた措置） 2,621 万円
- ・選挙費の精査 △2,052.7万円  
(農業委員選挙費・市議会議員選挙費・県議会議員選挙費)

#### 専決第3号 平成26年度小矢部市一般会計補正予算（第3号）

補正額 1,225.9万円 累計予算額 144億1,085万円

##### 《主な事業》

- ・衆議院議員選挙費 1,225.9万円

### 12月定例会の 審議経過

(会期14日間)

9日	本会議（提案理由説明）
10日	議案調査日
11日	議案調査日
12日	議会運営委員会
15日	本会議（代表・一般質問）
16日	駅周辺整備特別委員会
17日	民生文教常任委員会
17日	人口対策等特別委員会
17日	産業建設常任委員会
18日	総務常任委員会
19日	駅周辺整備特別委員会
19日	委員長会議
22日	議会運営委員会
22日	全員協議会
	本会議（質疑・討論・表決他）

### 組合議会議員の選挙

◎富山県後期高齢者医療広域連合議会議員

桜井 森夫 氏（後谷）

### 人事案件

◎小矢部市副市長の選任同意

高島 進一 氏（高岡市戸出町）

◎教育委員会委員の任命同意

西永 勉 氏（平田）

津山 玄亮 氏（西中）



# 12月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主な内容)	議決結果	中野留美子	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	中西正史	尾山喜次	砂田喜昭	宮西佐作	
		決算認定	認定第1号 平成25年度小矢部市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号 平成25年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号 平成25年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第4号 平成25年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第5号 平成25年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第6号 平成25年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号 平成25年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第8号 平成25年度小矢部市水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補予算	議案第54号 平成26年度小矢部市一般会計補正予算(第4号) (補正予算の概要は2ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定改廃	議案第55号 小矢部市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定 ・地方公務員法の一部改正により、職員が外国で勤務する配偶者と生活することを可能とする休業制度(配偶者同行休業制度)が創設されたことに伴い、条例を制定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号 小矢部市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部改正 ・国家公務員の特別職の職員の給与に関する法律の一部改正に準じ、特別職の期末手当の支給月数について改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第57号 小矢部市職員の給与に関する条例等の一部改正 ・平成26年度人事院勧告に基づく国家公務員の一般職の職員の給与に関する法律の一部改正に準じ、市職員の給与について改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第58号 小矢部市保育所条例の一部改正 ・津沢保育所の民営化に伴い、施設を廃止するため改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第59号 小矢部市国民健康保険条例の一部改正 ・国の制度改正に伴い、出産育児一時金の金額を改定するため改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第60号 小矢部市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の全部改正 ・平成26年度人事院勧告に基づく国家公務員の一般職の職員の給与に関する法律の一部改正に準じ、企業職員の給与について改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第61号 アートハウスおやべの指定管理者の指定について ・指定管理者の名称：公益財団法人クロスランドおやべ ・事務所の所在地：小矢部市鷺島10番地 ・指定期間：平成27年4月1日から平成31年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第62号 小矢部市男女共同参画都市宣言について ・小矢部市男女共同参画プラン(第2次)に男女共同参画都市宣言の実施が基本目標として位置付けられたことに伴い、宣言するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決承認	承認第3号 平成26年度小矢部市一般会計補正予算(第3号) (11月21日専決) ・衆議院の解散に伴い、衆議院議員総選挙等が執行されることになったことから、必要額の増額補正を行ったもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件	同意第4号 小矢部市副市長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第5号 小矢部市教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第6号 小矢部市教育委員会委員の任命 (人事案件の概要は2ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	請願第5号 年金・高齢者のくらしと地域経済を守る意見書提出を求める請願 請願者 全日本年金者組合富山県本部執行委員長 米谷寛治(紹介議員 砂田喜昭)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	

議長は中立公平の立場から表決に加わりません

## 陳情の処理状況

陳情	陳情第2号 小矢部市観光協会に対する財政的支援について陳情 陳情者 小矢部市観光協会会長 中嶋秀明	採択
陳情	陳情第3号 社会福祉事業に関する陳情 陳情者 社会福祉法人小矢部市社会福祉協議会会長 宇佐見外行	採択



誠流 藤本 雅明 議員

◎市長三期目の公約実現について

**質問** 石動駅周辺整備、人口減少対策、市街地活性化など大きな事業や難題もあるが、平成27年は小矢部市が大きく変わる年である。このチャンスをもどのように生かし、三期目の公約をどのように実現していくのか。市長の見解を問う。

**答弁** 平成27年3月の北陸新幹線金沢開業、同年7月の（仮称）三井アウトレットパーク北陸小矢部\*のオープンと、本市が飛躍を遂げる大きなチャンスをもたらした。加えて、第6次総合計画も来年度は後期実施計画の2年目に入ることから「魅力・安心・充実しあわせおやべ」の実現に向け、いよいよ仕上げの段階に入ったと考えている。高速道路網に恵まれ、北陸地方の中心に位置する本市は高いポテンシャルを有しているが、まだまだ十分に生かされていない地域資源も多くある。今後とも本市の存在感を高める事業を推進していきたいと考えているので、お力添えをお願いしたい。

◎新行財政改革大綱について

**質問** 新たに4年間の新行財政改革大綱が策定された。「小さな行政・質の高いサービス」、「市民協働の充実・推進」、「市民が主体のまちづくり」が基本目標として掲げられているが、新行財政改革大綱で目指す効果にはどのようなものがあるのか。市長の見解を問う。

**答弁** 行財政改革を進めることにより、本市が早急に取り組むべき多くの課題に対する重要施策を計上した総合計画の着実な実現を図るための財政基盤を確立することができる。市民自らが積極的にかちづくりに参画することにより、全ての市民が小矢部市民としての意識と誇りを持つ都市、「市民の市民による市民のための『市民都市』」の実現に向けて大きく前進できるものと考えている。

◎道の駅メルヘンおやべについて

**質問** 施設全体の管理を指定管理者に任せているが、維持管理が十分でないように感じる。ドッグランの施設に水たまりができていたり、施設内を歩くと、狭い上にパターションが多く歩きづらい等の問題がある、施設の改修やレイアウトを見直す考えはあるか。市長の見解を問う。

**答弁** ドッグランについては、水はけの悪いことが要因だと思いが、降雨の際、ドッグランや周辺の未舗装部に水たまりが発生している。今後、修繕改修を加えるとともに、利用者の意見も聴きながら対策を講じていきたい。また、施設内フロアにパターションがあり、圧迫感があるという指摘については、指定管理者とも協議を行い、フロア内のレイアウトの見直しを実施していきたい。

**質問** アートハウスおやべの開業までのスケジュールを問う。来場者を増やすには、魅力的な企画をしっかりと立案することが重要である。開業後の企画展の予定、芸術文化活動の拠点としての活用方法をどのように考えているのか。市長の見解を問う。

◎アートハウスおやべについて

**答弁** 平成27年春に建物が完成し、約半年の室内乾燥期間を経て、同年秋季にオープンする予定である。オープニングイベントに関しては、「市民の美術活動の拠点となる施設」、「子供たちの創造力や感性を育むことができる施設」、「創作活動や美術鑑賞が気軽にできる施設」、「誰もが身近に感じ自由に立ち寄ることができる施設」という4つの目標を実現する記念企画展を開催したいと考えている。訪れる方にアートハウスでの開催事業に気軽に参加・観覧していただくような企画を実施し、将来的にはクロスランドおやべやアートハウスおやべを目的に本市に来てもらえるような事業展開をしていきたい。

**質問** 人口減少とあわせて労働力人口の減少が予想されている。労働力人口の減少は、市税の約4割を占める市民税が減ることにつながる。このことをどのように捉え、どのように対処するのか。市長の見解を問う。

◎財政問題について

**答弁** 人口減少は市税収入に影響を及ぼすものであり、特に労働力人口の減少は市民の総所得の減少につながる。個人市民税が減る原因となる。また、人口はまちの賑わいや活力を生む大切な要素であり、市勢を表す1つのバロメータでもある。アウトレットモールの開業効果を生かし、知恵と工夫を凝らした様々な施策を実施し、人口減少に歯止めをかけ、人口増につなげていきたい。



\*平成27年1月22日、三井不動産株式会社は、施設名称を「三井アウトレットパーク北陸小矢部」と決定し、開業は「7月中旬」を予定していると発表しました。

## ◎小矢部市の人口問題について



中田 正樹 議員

**質問** 平成26年5月、日本創成会議・人口減少問題検討分科会が公表したリストに、どうして本市が消滅の可能性のある自治体として入ってしまったのか。当局はその理由をどのように捉えているのか。

**答弁** 日本創成会議は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」に準拠し、人口移動の状況が現状と同水準という前提で算出した結果、2010年から2040年までに20歳～39歳の女性人口が5割以下に減少する自治体を消滅可能性都市としたものである。本市の将来人口の減少率は県内でも高く、転出者に占める若年層の割合も高いことからこのような結果になったと推測している。

**質問** 県の調査によると、15歳～19歳では男性の県外転出が多く、20歳～24歳は女性の県外転出が多いとされている。本市における20歳～29歳の年代の社会動態の男女比はどのようなになっているのか伺う。

**答弁** 平成15年以降の社会動態では平成19年の減少が最も多く、そのうち20代の男女比は、男性56人、女性83人と女

性が多い状況である。平成23年の男女比も男性34人、女性56人と女性が多い状況である。

**質問** 本市では誕生祝い事業として祝い品を贈っているが、行政視察先の山梨県北杜市では第1子への祝い金を廃止し、第2子は5万円、第3子は30万円、第4子以降は50万円を支給していた。ある程度思い切ったことをしないと少子化が止まらないと思うが、当局の見解を伺う。

**答弁** 子育て支援金については、市民の要望や各種子育て支援策との連携、金額やその効果等について検証する必要があると考えている。

**質問** 国では年少扶養控除の復活が議論されていると聞いている。国を待たず、本市だけでも住民税の年少扶養控除を実施し、子育てを支援することはできないのか。

**答弁** 地方税法では、他自治体との調整や税負担の適正化社会経済政策との適合性を図ることが必要なことから、新たな所得控除を創設することや所得控除額を増減すること、適用要件を変更することはできないこととされている。



白井 中 議員

## ◎高齢者等の来庁時における接遇と対応について ◎定住促進と空き家の有効活用について ◎少子化の改善点と人口増対策について

**質問** 来庁者へのきめの細かい対応と親切的な接遇を心がけるべきだと提言する。そこで、病院の入口に設置してあるようなカウンターの置いて、窓口が混む曜日や時間だけでも職員を配置することを提案するが、当局の見解を伺う。

**答弁** 特定の時間に限らず、いつ、どなたが、どの課へ来庁されるものも確な対応ができるよう、職員全体がホスピタリティ精神を持ち、窓口案内コンシェルジュであるという姿勢で、来庁される方への目配り、気配りを絶やさず、迅速に対応できるように徹底していきたい。

**質問** アウトレットモールで雇用されるスタッフの方々が一人でも多く住んでいただければ、方策や戦略を考えていく。優位に進めなくてはいけない。住む物件がなくて、近隣の他市や県外に流れることがないようにはしなければならぬと考えるが、当局の見解を伺う。

**答弁** 賃貸住宅の空き室状況等を広く情報収集し、スピーディに対応できるように、市内の不動産仲介業者と情報の共有を図るなど連携していくこ

とが重要であると考えている。また、本市の定住促進助成制度を紹介するとともに、充実した子育て支援制度や魅力的で安心できる住環境などをしっかりとPRし、転入促進に努めていきたいと考えている。

**質問** 少子化と人口増対策について、特に若年女性人口の流出を防ぐ対策を早急に講ずる必要がある。キーポイントは「高学歴女性の雇用対策と生活満足感の向上」であり、この解決が人口増対策につながる道筋になると思うが、見解を伺う。

**答弁** これまでも市長のトップセールスによる企業誘致に取り組んできた。アウトレットモールは平成27年7月のオープンを予定しているが、今後とも、サービス業等の企業誘致にも積極的に取り組み、幅広い就業機会を確保し、女性の働く場の創出に努めていきたい。国が進める地方創生施策とも連携を図りながら、本市の特性を踏まえた地方版総合戦略の策定を進め、市民の生活満足感の向上に努めていきたいと考えている。

一般質問

◎人が集うにぎわいのあるまちづくりについて  
 ◎元気なまちづくりについて  
 ◎安全・安心なまちづくりについて



嶋田 幸恵 議員

**質問** アウトレットモールを訪れる方は年間350万人とも言われている。その1%をまちなかに誘導することだが、基本的なまちづくりの方向性と交流人口を生かす具体的な施策について見解を伺う。

**答弁** 市商業まちづくり戦略会議の意見等を踏まえ、市内で商いをしやすい仕掛けをつくり、市内外から民間投資を喚起し、買い物を楽しめるまちづくりを進めるため、商業まちづくりのテーマを「おやべ楽市」とした。交流人口の活用施策としては、アウトレットモールと道の駅メルヘンおやべとの連携、市内商店に呼び込むためのクーポン付きの周遊提案チラシの配布、商工会との共同イベントの開催等を計画しており、順次事業化していきたいと考えている。

の都市との友好関係が醸成され、市民レベルでの交流が深まるなど、機が熟した段階で、訪問団の結団等の「つなぐ事業」に入っていきたい。

**質問** 現場からは岩尾滝くつろぎ交流館のトイレを改修してほしいという声が多い。当局の見解を伺う。

**答弁** 厨房の改修など施設の機能が高まることで利用者の増加が見込まれている。今後は、利便性の向上や衛生面にも配慮すべきであると考えており、関係者と協議の上、改修を検討していきたい。

**質問** 安全で安心なまちづくりは、消防団や私設隊の皆さんの苦労や活躍があつて成り立っている。被服等に関する各分団の要望を聞き、しっかりと要望に応えていくべきではないか。当局の見解を伺う。

**答弁** 現場の声に応じた対応をすることは大切であり、今後、小矢部消防署と連携を図りながら、各分団員の実態調査を行い、消防団員の皆さんが適切な被服のもと消防活動ができるよう環境整備に努めていきたいと考えている。

**質問** 本市には、結婚して定住する外国人や縁あつて居住する外国人がおられるが、外国の都市と友好都市を結ぶ働きかけや訪問団を結成するなどの「つなぐ事業」についてのどのように考えているか。

**答弁** 訪日外国人旅行者の誘客活動を推進する中で、特定

◎おやべ夢構想について  
 ◎中小企業大学の候補地について  
 ◎小矢部エコビレッジ構想について



加藤 幸雄 議員

**質問** おやべ夢構想の「稲葉山・宮島峡癒しの観光ゾーン構想」について、稲葉山や宮島峡に向かう道路やアクセスが悪い。自然や資源をさらに磨き、立派な観光地にすべきであると思うが、見解を伺う。

**答弁** 案内看板の改修や公衆トイレの整備など、豊かな自然景観と調和した環境の整備を行ってきており、今後も継続的な整備を予定している。アクセス道路の整備や花壇整備等の道路緑化についても関係機関と検討していきたい。

**質問** 「桜町遺跡・縄文の里構想」について、ふるさと歴史館で展示している桜町遺跡の遺物を桜町に移動し一体的に展示してはどうか。

**答弁** 指定文化財の展示・保管には恒久的な施設が必要になることから、市民ニーズを調査する必要がある。桜町JOMONパークについては、指定文化財以外の遺物の入替展示や情報発信等の改善により魅力向上を図るとともに、ふるさと歴史館との連携により市内の観光強化につなげていきたい。

**質問** 中小企業大学の候補地について、中小企業大学校

の誘致が難しい場合には、看護大学等の誘致に切り替えることはできないか。

**答弁** 中小企業大学校については、平成5年に富山県が本市を開設候補地として選定した。本市では経営改善や人材育成に対する中小企業のニーズが依然として高いものと認識している。これまでも本市と富山県が一体となって誘致活動を展開してきたことから、候補地の用途変更や代替施設の誘致については、県と協議した上で判断していきたい。

**質問** 南砺市でエコビレッジサミットが開催された。再生可能エネルギーの活用や農産物の産地地消により、地域内の資源の循環を目指すという構想であるが、本市でも取り組むことができないか。

**答弁** 近年、本市でも森や里山の環境を守るために、富山県の水と緑の森づくり税により里山再生整備事業等に取り組んでいるところである。今後は先進地の動向を注視しながら、自然と共生し、未来に向けて持続可能なまちづくりを目指していきたいと考えている。

## ◎道の駅メルヘンおやべの改修について

## ◎アウトレットモールへの道路網整備及び交通安全対策について

山室 秀隆 議員



**質問** 道の駅メルヘンおやべの地域農産物販売所が拡張されることで、地元農産物の産地消が一層拡大し、農家の6次産業化の足がかりになるものと期待している。今回の改修の詳細について伺う。

**答弁** 農産物売り場の入口周辺を拡張する工事を行い、拡張に伴う施設内のレイアウトの見直しを行う。什器等の改修や交流広場を有効活用するためのテーブル・チェア等の備品購入、そして休憩コーナーの充実を図ることとしている。

**質問** 道の駅は、運転で疲れた身体を休めたりするための休憩機能も有している。冬場の入込数確保のため、前面ポーチ部分の拡張や風除施設の新設等を検討してはどうか。当局の見解を伺う。

**答弁** 今回の改修では、休憩コーナーの充実を図る工事において、施設内における休憩スペースの拡充を図る計画である。前面ポーチへの風除施設の新設については、今後、利用者や指定管理者の意見を聴きながら検討していきたい。

**質問** アウトレットモールへの連絡道路の整備と交通安全

対策について、スピード感を持って対応してほしい。国道47号の泉町交差点は右折レーンが設置されていないため渋滞の原因になっている。歩道幅員も狭く、自転車は車道を通過するため、接触事故も心配される。泉町交差点は本市の玄関口とも言える交差点であり、現在整備中の駅南地区へのアクセス箇所でもあるので、早急に改良できないか。

**答弁** 石動駅南方面へのバイパス機能を持つ小矢部川大橋の竣工により、交通量を分散させるなどの渋滞対策を進めている。泉町交差点の早期改良については、今後、アウトレットモール開業による影響等を見極めて、県と協議していきたい。

**質問** アウトレットモールの開業後、主要地方道富山戸出小矢部線の柳原交差点から芹川交差点までの区間が大変渋滞すると思う。この区間の渋滞解消策について伺う。

**答弁** 渋滞発生時の解消策としては、芹川地内で改良済みの市道水落地崎中央線を利用して、芹川交差点の手前で国道8号側に誘導することが有効だと考えている。

砂田 喜昭 議員



## ◎原発ゼロで再生可能エネルギーへの転換を

## ◎並行在来線と地域公共交通の連携について

## ◎下水道計画の見直しと住民アンケートについて

## ◎第6次総合計画後期実施計画と市財政問題について

**質問** 公共施設に積極的に木質ペレットボイラーを導入すべきである。単に採算性を比較するのではなく、私たちが納めた税金を海外の化石燃料のために使うのか、地域内での循環が期待できるエネルギーに使うのか、これを重要なテーマとして検討すべきではないか。

**答弁** 平成28年度までに定める公共施設等管理計画では施設の再編統合、効率的な配置改修など様々な対応を位置付ける予定にしている。維持管理等の面でペレットボイラー等への切替も視点に含めて検討し、計画を定めていきたい。

**質問** 石動駅駐車場について、公共交通活用のためにも、通勤者の月極有料駐車場の必要だが、時間制駐車場の無料化や長距離電車利用の無料駐車場の存続を求めたい。

**答弁** 時間制の無料化については月極制とのバランスを考慮しながら検討したい。長距離旅行用無料駐車場の継続については、あいの風とやま鉄道株式会社など関係機関に要望したい。

**質問** 下水道整備計画の抜本的な見直しとともに、整備地

域における接続促進対策が重要である。現行の助成制度のうち、借入して工事等をした場合に利子補給する制度はこの6年間で利用はゼロであった。一方、3年以内に接続した場合に5万円を助成する促進助成金は213件の利用があった。3年以内の条件を外して助成制度を拡充できないか。

**答弁** 平成21年度創設の促進助成金で効果が上がっていることは事実で、利用者の要望も聴きながら制度について今後とも検討したい。

**質問** 第6次総合計画後期実施計画の中でアウトレット関連事業の40億円のほかに、石動駅周辺整備事業に22億円、図書館の新築に7.7億円、総合会館等の統合新築に7億円、合わせて37.4億円がのしかかっている。これらの事業を実施した場合、平成30年度末の市の借金と将来負担比率はどれだけになると見込んでいるのか。

**答弁** 総合計画上、平成30年度末の時点で、市債の残高は169億円余りになると見込んでおり、将来負担比率は160%余りになると見込んでいる。



中野留美子 議員

◎クロスランドおやべの活性化について  
◎災害対策について

**質問** クロスランドおやべの利用率・稼働率を上げることにより、本市の明るい未来をつくることができると考える。クロスランドおやべがあるからこそ芸術・教育の推進につながり、さらに人も集まるようになればよいと考えるが、クロスランドおやべの今後の取組や未来の展望について見解を伺う。

**答弁** 音楽と花火のショーである「Let It GoYabe」を12月24日に開催する予定である。また、自主事業として、ワインターフェスティバルも6事業ほど予定されており、空中レストランも10月から月1回開催するようにしている。未来の展望としては、平成27年秋に敷地内にアートハウスおやべがオープンすることになっており、新たな施設と相乗効果を発揮し、多くの人来てもらえるようにしていきたいと考えている。

**質問** 災害時に、地区の被害状況に合わせて、地区ごとの連携が必要なこともあり得ると思う。本市における地区間、自治振興会同士の助け合い、サポート体制についてどのよ

うな取組を行っているか。

**答弁** 各地区の自主防災会の連携の場として、自主防災組織連絡協議会を設置している。この協議会で、それぞれの自主防災会での活動発表等の情報交換をはじめ、防災リーダー研修会の開催等を行い、組織間のつながりの強化を図るとともに、災害等への地域の対応力の向上に努めているところである。

**質問** アウトレットモールのオープンによって、いろいろな病気や外来生物が入ってくる可能性が増えると思う。特に特定外来生物のセアカゴケグモが金沢市で発見されており、本市にも入ってくるのが予想される。特定外来生物に対する対策と告知を事前に行っておくべきだと考えるが、当局の見解を伺う。

**答弁** セアカゴケグモは神経毒を持つ毒グモであり、素手でつかまないと、巣には触れないという注意が必要である。被害が出る前に対応を周知することが重要であると考えており、市報やケーブルテレビ、ホームページ等を利用した周知を検討したいと考えている。

傍聴のお知らせ

市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。

本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。約50名の傍聴が可能です。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

※電話、口頭による申し込みはできません。

平成26年は、延べ105名の皆さんが本会議を傍聴されました。



小矢部市議場

録画映像インターネット配信

より多くの皆さんに、定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、小矢部市議会のホームページで本会議の録画映像を配信しています。

録画映像は、本会議開催日のおおむね1週間後から配信しています。小矢部市議会のホームページの「議会中継」をクリックして、ご覧ください。(議会開催年や発言者を選択してご覧いただけます。)



小矢部市議会 議会中継ページ  
<http://www.gikai-web.com/dvl-oyabe/2.html>



## 第97回 全国市議会議長会評議員会



議案説明を行う石田議長

平成26年11月5日、東京都で開催された第97回全国市議会議長会評議員会において、石田議長が北信越部会を代表して次の議案を提出し、原案のとおり認定されました。本件は、全国市議会議長会に置かれる関係委員会に付託され、今後、その実現に向けて活動されることになります。

### 高規格幹線道路の整備促進について

北信越部会提出  
小 矢 部 市

高規格幹線道路は、地域間相互の交流や沿線地域の産業活性化など、活力ある経済社会活動を支える最も根幹的な社会資本であるとともに、都市の活性化を担う重要な道路であります。

東海北陸自動車道及び能越自動車道は、北陸自動車道と連携する高規格幹線道路として石川県能登地区や富山県西部地区と3大都市圏との観光・産業・経済・文化等の交流を促進させ、地域活性化に大きく寄与する道路であります。また、平成26年度末に開業した北陸新幹線と一体となって、更なる高速ネットワーク体系が形成され、環日本海経済圏の政治・経済・文化交流等を深める強力な推進力になるものと期待されています。

さらに、地域産業における物流においても非常に重要であるとともに、太平洋側都市圏が万が一被災した場合における迅速な復旧・復興支援活動に重要な役割を果たすもので、日本経済にとって必要不可欠な道路であります。

しかしながら、東海北陸自動車道においては、平成24年4月に白鳥IC～飛騨清見IC間の4車線化が決まっておりますが、残る飛騨清見IC～小矢部砺波JCT間が暫定2車線による対面通行であることから、近年の交通量の増加、交通事故に伴う上下線の全面通行止め、とりわけ降雪時においては慢性的な渋滞を引き起こすなど、安定的な輸送に大きな支障となっております。

また、能越自動車道においては、高規格幹線道路として位置付けられておりますが、管理者が複数で一部の区間が有料となっております。能登・富山県西部の物流の効率化や地域の活性化はもとより、災害時には、避難、復旧・復興支援道路としても大きな役割を担うことから、一体的な管理のもとで機動的な運用が必要となってきております。

つきましては、高規格幹線道路の機能向上として、次の事項について格段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

- 1 東海北陸自動車道の全線4車線化
- 2 能越自動車道の国による一元管理

# 閉会中委員会開催状況

## 総務常任委員会

10月28日に所管事項の調査研究として、市当局に出席を求め、委員会を開催しました。

\*所管事項について、委員から意見がありました。

・石動駅の利用促進について、あいの風とやま鉄道株式会社がファンクラブ会員の募集を行っている。少しでもファンを増やすことが鉄道利用者の増加につながると思うので、前向きに取り組んでほしい。

・来庁者の接遇について、月曜日と金曜日の窓口が非常に混み合っている。人員を多くして対応するなど工夫を凝らしてホスピタリティな接遇に心がけてほしい。

・ふるさと納税について、北海道沼田町の返礼品（農産物セット）の中に沼田町の人口対策の取組を紹介した小冊子が入っていた。本市でも、ふるさと納税をしてくれた方々に対して、市の取組や一生懸命さが伝わるような対応を検討してはどうか。



## 産業建設常任委員会

11月13日に所管事項の調査研究として、市当局に出席を求め、委員会を開催しました。

\*市当局からの報告事項

### ◎平成26年度除雪計画について

冬期間（3月末まで）における道路除雪実施計画の策定について報告がありました。

### ◎ゆるキャラグランプリ2014について

メルギューくん・メルモモちゃんらの順位は、全参加キャラ1699体のうち66位（県内参加キャラ20体のうち2位）であったとの報告がありました。

\*所管事項について、委員から意見がありました。

・アウトレットモールの開業に伴い、道の駅の来場者の増加が見込まれる。駐車場を含めた道の駅の規模拡大について、早急に検討し、実施すべきである。

・小矢部ICからアウトレットモールまでの区間は相当距離もあるし、道路も入りくんでいる。他県や他市を訪れる方々にとって、分かりやすい道路誘導看板を整備してほしい。

## 民生文教常任委員会

11月20日に所管事項の調査研究として、市当局に出席を求め、委員会を開催しました。

\*所管事項について、委員から意見がありました。

・スタディメイトの配置時間や体制について、改善の必要性が認められるので、教育委員会として実態を調査してほしい。

・食育推進計画が平成24年からスタートして、約2年が経過した。学校や保育所の保護者には周知されているが、一般の市民の皆さんにも周知すべきである。効果的なPRの実施を求める。

・小中学校のグラウンドをしっかりと整備してほしい。また小学校のエアコン整備については、県への働きかけを強化し、未整備である石動、津沢、蟹谷小学校への整備を進めてほしい。

・県立高校の再編に関する議論がスタートしている。議論のピークは平成28年度と聞いているので、市の姿勢をしっかりと打ち出して要望してほしい。



## 駅周辺整備特別委員会

10月24日と11月25日に所管事項の調査研究として、委員会を開催しました。

\*市当局からの報告事項

### ◎石動駅利用者数について

過去5年間の駅利用者数の報告がありました。

### ◎総合会館、石動コミュニティセンター、勤労青少年ホームの利用状況等について

各施設の規模や利用状況等の報告がありました。

### ◎小矢部市民図書館整備計画検討報告書について

10月15日付けで市民図書館整備計画検討委員会から提出された報告書について報告がありました。

## 人口対策等特別委員会

11月10日に所管事項の調査研究として、委員会を開催しました。

\*市当局からの報告事項

### ◎高齢者支援について

現在進めている高齢者支援施策について報告がありました。

### ◎スポーツ振興事業について

現在進めているスポーツ振興事業について報告がありました。

# 特別委員会行政視察報告

## 駅周辺整備特別委員会

### 【日程】

平成26年11月17日～18日

### 【視察目的】

- ・駅舎と図書館等の合築について
- ・駅舎併設複合交流センター整備事業について

11月17日に長野県軽井沢町を視察しました。軽井沢町は、中軽井沢駅に地域交流施設と図書館を合築整備していました。説明後の質疑応答では「騒音はあまり気にならない」、「来館者数や貸出冊数が大幅に増え、事業効果が大きい」との説明がありました。

11月18日には長野県小諸市を視察しました。小諸市は、駅舎併設の複合交流センター内に図書館を整備する計画でしたが、他の大型事業と同時に進めることは財政的に困難であると判断し、延期することを決定しました。小諸市では、計画の策定過程において、様々な方法で住民の意見を取り入れていました。



小諸市にて

## 人口対策等特別委員会

### 【日程】

平成26年11月4日～5日

### 【視察目的】

- ・地方創生関連予算について
- ・子育て支援住宅について

11月4日に東京都内にて、地方創生に係る交付金や地域における少子化対策の強化等について内閣府の担当者から説明を受けました。質疑応答において、「地方が主役である」、「地方の課題に対応するため、地方への人材支援を行う」との説明がありました。

11月5日に山梨県北杜市を視察しました。北杜市では、子育て支援住宅を整備し、子育てにやさしい住環境の整備を進めていました。加えて、第2子から保育料を無料にする取組や出産祝金の支給額を多子世帯に有利になるように工夫するなど、子育て支援事業に積極的に取り組んでいます。



東京都内にて

## 議会報告会を開催しました

11月29日（土）、午後7時からクロスランドおやべセレナホールにて議会報告会を開催しました。議会報告会の第1部では、市議会の概要や常任委員会・特別委員会の審査内容について各委員長から報告し、第2部では参加された市民の皆さんと意見交換を行いました。



意見交換では、「議会報告会の参加者数が少ない」、「周知方法を検討すべきではないか」といったご意見や「農業振興策の取組について」や「議員定数の見直しについて」など、将来を見据えた貴重なご提言をいただきました。また、当日回収したアンケートにおいても、数多くのご意見やご提言をいただきました。

いただいたご意見やご提言は、今後の市政運営や次回の議会報告会の参考とさせていただきます。

今後とも、市民の皆さんに開かれた議会を目指して取り組んでまいりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

※当日の議会報告会の概要は、小矢部市議会のホームページでもご覧になれます。

# 委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会  
の議案審査の過程において、市当局に  
対し、次の意見がありました。

## 決算特別委員会

第一に、観光推進に関しては、北  
陸新幹線開業やアウトレットパーク  
による交流人口の拡大が見込まれる  
ことから、市の活性化を見据えた観  
光PRにしっかりと取り組むこと。

第二に、近年、消防団員数は減少  
傾向にあり、高齢化も進んでいるこ  
とから、将来の担い手となる若い団  
員の確保が必要である。そのため  
も、消防団員活動に対する環境整備  
の充実を図ること。

第三に、各地方公共団体において、  
公共施設等総合管理計画の策定が求  
められていることから、公共施設の  
調査を早期に実施し、高齢化社会に  
対応できるように施設の利便性の向上  
に努めること。

第四に、下水道事業については、  
利用者である市民に対して、将来的  
に大きな負担を与える可能性がある  
ことや人口減少・高齢化等により今  
後の下水道の利用需要も変化してい  
くことが見込まれることから、時代  
に即した効率的な事業計画の見直し

の検討、対策を図ること。

第五に、単に会計処理が適正であ  
ればよいということに留めることな  
く、予算執行後には事業投資効果を  
的確に把握し、今後の市政運営に反  
映させること。

## 総務常任委員会

一点目は、職員定数について、定  
員管理計画に基づき人員配置を行っ  
ているが、新規業務等の事務量負担  
が大きくなっている部署に配慮する  
など、柔軟な人員配置に努めること。

また、臨時職員の適正な勤務条件  
と人員配置に配慮すること。  
なお、「仕事と生活の調和」である  
「ワーク・ライフ・バランス」に取り  
組むなど、職員の健康管理に留意し、  
職員が業務に専念できる環境づくりに  
努めること。

二点目は、空き家等の対策につい  
て、条例施行に併せ、さまざまな補  
助金制度を創設されたが、総合窓口  
と事業担当課を一本化し、積極的に  
推進できる体制づくりに努めること。

## 産業建設常任委員会

一点目は、東部産業団地関連事業  
について、いよいよ平成27年の夏、(仮  
称)三井アウトレットパーク北陸小

矢部\*が開業する。本格的な冬期間に  
入り、降雪による事業の遅れが心配  
されるが、開業に支障を来すことの  
ないよう、スケジュール感を持って  
着実に事業を推進すること。

二点目は、農業政策について、経  
営所得安定対策の見直しに対応する  
ため、集落営農の法人化が推進され  
ているが、円滑な法人化の実現に向  
けて、引き続き、国や県、農業団体  
等と連携をとりながら、集落営農の  
取組を支援すること。また、農政の  
見直しに関する情報を適宜把握し、  
農業者に対して、適切に情報提供を  
行うこと。

## 民生文教常任委員会

一点目は、本定例会に上程された  
小矢部市男女共同参画都市宣言につ  
いては、市の主張、方針等を、市内  
外に表明し、男女共同参画の気運を  
高めることにある。

市としては、宣言に基づき、男女  
共同参画社会づくりのための施策に  
は、数値目標を掲げて取り組むこと。

二点目は、財団法人クロスランド  
おやべに管理運営されるアートハウ  
スおやべについては、市民の美術活  
動の拠点となる重要な施設であり、  
期待もたいへん大きいことから、子  
どもから大人まで多くの市民が訪れ、  
利用されるよう企画・運営には、しっ

かりと取り組むこと。

三点目は、市民向けの様々な補助  
制度については、知らないこと補助を  
受けることができないことから、該  
当者及び家族に対して、各課連携  
を図りながら、色々な機会を通して、  
更なる周知徹底に努めること。

## 人口対策等特別委員会 (中間報告)

日本創成会議の人口減少問題検討  
分科会の公表による消滅自治体リス  
トに小矢部市が含まれていたことを  
受け、本委員会は、平成26年9月定  
例会において、人口問題に対し、調査・  
研究を行うために設置され、3回の  
委員会と行政視察を行って参りました。

本市におきましては、第6次総合  
計画での目標人口を3万3000人  
と設定し、定住促進、少子化対策を  
はじめとする様々な施策に取り組ん  
できましたが、現在の人口は、平成  
26年11月現在で、3万1337人と  
なっており、目標人口に遠く及んで  
いないのが現状であります。

こうした現状を踏まえ、次の点に  
ついて、人口対策等特別委員会とし  
ての中間報告を行うものであります。  
一点目は、平成27年のアウトレッ  
トモールの開業、新幹線開業という  
チャンスをしつかりと生かし、小矢  
部市をPRする機会と捉え、最大限

\*平成27年1月22日、三井不動産株式会社は、施設名称を「三井ア  
ウトレットパーク北陸小矢部」と決定し、開業は「7月中旬」を予定し  
ていと発表しました。

## 平成26年度 議長交際費支出状況

平成26年4月～平成26年11月 (単位:円)

区 分	件数	金 額
1 慶弔・見舞費	16	327,400
① 御祝・寸志	4	80,000
② 激 励 金	7	162,000
③ 香典・供物	5	85,400
2 協 賛 費	11	50,222
3 会費・懇談会費	8	48,000
4 そ の 他	22	163,332
合 計	57	588,954
平成26年度予算額		1,400,000
執 行 率		42.07%

※小矢部市議会のホームページからもご覧になれます。

に集客効果、定住効果等が発揮されるよう努めること。

二点目は、女性が輝く元気なまちづくりを目指し、対象を女性と子供に絞り、女性にとって、小矢部市が男女共同参画都市として、魅力あるまちになるよう、また子供達の活気に溢れるまちになるよう、施策を講ずること。

三点目は、一つひとつの人口対策における事業の連携をしっかりと取り、これらを統合する機能を持つプロジェクトチームを作るなど、積極的に、スピード感を持って、人口対策を総合的に推進するよう努めること。

## 駅周辺整備特別委員会

駅周辺整備特別委員会は、5回にわたる委員会での集中的な議論を踏まえ、国の都市再構築戦略事業を活用した駅周辺整備事業について、当局に対し、次のとおり報告しました。

委員の中には、様々な意見があり、全員一致した結論は出せないが、計画を申請することは認めるものとする。ただし、

- ・今後、財政状況が悪化した場合には変更すべきこと。
- ・今後の並行在来線の利用状況によっては、変更もあり得ること。
- ・民間活力の活用も含め、石動駅周辺整備の全体像を早急に示すこと。
- ・事業執行にあたっては、議会との連絡を密にすること。

以上のことに留意すること。



## 市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

平成26年11月以降、次の議会が本市を訪れました。

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視 察 内 容
		議員	随 行	
26. 11. 6	大阪府池田市議会 (文教病院常任委員会)	6	3	・学力向上及び教職員育成などの研修について
11. 18	京都府宮津市議会 (会派)	2	-	・おやべ型1%まちづくり事業について

平成26年は全国各地から議員67人と随員11人が本市を訪れ、行政視察を実施されました。

## 3月定例会の日程(予定)

2日(月)	10時 本会議(提案理由説明)	全員協議会
3日(火)	10時 全員協議会	
4日(水)	10時 全員協議会	
5日(木)	議案調査日	
6日(金)	議案調査日	
9日(月)	9時 議会運営委員会	
10日(火)	10時 本会議(一般質問)	
11日(水)	10時 予算特別委員会	
12日(木)	10時 予算特別委員会	
13日(金)	10時 予算特別委員会	
16日(月)	14時 民生文教常任委員会	
17日(火)	14時 産業建設常任委員会	
18日(水)	10時 総務常任委員会	
19日(木)	10時 人口対策等特別委員会	
20日(金)	14時 委員長会議	
23日(月)	10時 議会運営委員会	
	13時 全員協議会	
	15時 本会議(質疑・討論・表決)	

※紺色の文字はケーブルテレビ放送予定、録画映像インターネット配信予定です。

# ■ 会務報告

平成26年9月26日から12月8日まで

年月日	件名	摘要	開催地
26. 9.26	北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県議会議員連盟定期総会	・議事 平成25年度事業報告、収支決算、平成26年度事業計画(案)、平成26年度収支予算(案)、役員選任について ・記念講演	富山市
10. 4	高岡広域工コククリーンセンター竣工式	・施設見学	高岡市
	北陸新幹線新高岡駅「かがやき」停車実現期成同盟会設立総会	・設立趣意書説明、役員選出、今後の活動方針について	高岡市
10. 8~ 9	正副議長就任あいさつ回り	・県選出国會議員等	東京都
10.14	小矢部市議会・津幡町議会親善交流会	・グラウンドゴルフ	津幡町
10.15~17	決算特別委員会	・付託議案審議 認定第1号~認定第8号	第二委員会室
10.24	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・所得税の源泉徴収漏れについて他4件報告	第一委員会室
	駅周辺整備特別委員会	・現地調査 ・石動駅利用者数について他2件報告	第二委員会室
10.28	議会だより編集委員会	・議会だよりNo175について	第二委員会室
	総務常任委員会	・報告案件なし	第二委員会室
	事務事業評価	・企業立地対策費他4事業	
10.30	北信越市議会議長会評議員会	・会務報告 ・議案審議(各県提出議案) ※高岡市、砺波市、小矢部市提出 高規格幹線道路の整備促進について 1.東海北陸自動車道の全線4車線化 2.能越自動車道の国による一元管理	福井市
10.31	砺波地域消防組合議会全員協議会	・消防署再編について報告 (仮称)南砺消防署東分署及び小矢部消防署津沢出張所	砺波市
	砺波地域消防組合議会運営委員会	・第2回臨時会について	
11. 4~ 5	人口対策等特別委員会行政視察	・地方創生関連予算について ・子育て支援住宅について	東京都 山梨県北杜市
11. 5	全国市議会議長会評議員会	・議事 委員会報告、部会提出議案、会長提出議案について ※北信越部会提出 高規格幹線道路の整備促進について	東京都
11.10	人口対策等特別委員会	・高齢者対策について他1件報告 ・行政視察報告	第二委員会室
11.10~12	立山の塔慰霊行事	・「立山の塔」慰霊祭 ・平和の礎・平和記念資料館等巡拝	沖縄県糸満市
11.13	産業建設常任委員会	・平成26年度除雪計画について他1件報告	第二委員会室
	事務事業評価	・商工業振興費他4事業	
11.17~18	駅周辺整備特別委員会行政視察	・駅舎と地域交流施設・図書館の合築等について ・駅舎併設複合交流センター、図書館の併設事業等について ・現地視察(駅南ロータリーと南北自由通路) ・現地視察(元気交流ステーションと図書館)	長野県軽井沢町 長野県小諸市 長野県東御市 富山県立山町
11.19	小矢部市議会・砺波市議会議員研修会	・(仮称)三井アウトレットパーク北陸小矢部 ・市立砺波総合病院	道の駅ハピバやおやべ体験交流室 砺波市
11.20	民生文教常任委員会	・報告案件なし	第二委員会室
	事務事業評価	・放課後児童健全育成費他4事業	
11.25	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・議会事務事業評価報告 ・おやべカレンダー2015(未来予想図カレンダー)の制作について他3件報告	第一委員会室
	議員懇談会	・議会報告会について	第一委員会室
	駅周辺整備特別委員会	・行政視察報告	第二委員会室
11.26	おやべ・ひみ・たかおかビジネス交歓会 in 東京	・第1部 セミナー ・第2部 交流交歓会	東京都
11.27	砺波地方介護保険組合議員懇談会	・第6期砺波地方介護保険事業計画について	砺波市
	砺波地域消防組合議会運営委員会	・臨時会運営について	砺波市
	砺波地域消防組合議会臨時会	・平成26年度一般会計補正予算(第3号)について ・職員の給与に関する条例の一部改正について	
11.29	議会報告会	・平成26年9月定例会常任委員会の審査報告、特別委員会の設置趣旨等報告 ・質疑応答・意見交換	クロスランドおやべ
12. 2	議会運営委員会	・平成26年12月定例会提出議案について等	第二委員会室

## 編集後記

3月14日の北陸新幹線金沢開業、そして7月中旬の三井アウトレットパーク北陸小矢部の開業と、平成27年は小矢部市が大きく飛躍する一年になるかと思えます。

交流人口・定住人口の増加や地域経済の活性化など様々な効果が期待され、小矢部市が賑やかで華やかなまちになることと確信しています。

市議会としましては、これらの効果が最大限に発揮されるよう努めるとともに、交通渋滞や防犯に対する対策をとりながら、安全・安心なまちづくりを進めて参ります。

今後とも、市民の皆さんの期待に応えられるよう取り組んで参りますので、ご支援とご協力をよろしく願います。

次回の「議会だより」は、平成27年5月の予定です。  
(議会だより編集委員一同)